

授業科目	保育内容 表現					実務家教員担当科目	-		
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期		
担当教員	金谷 めぐみ								
授業概要	・乳幼児の「表現」について解説すると共に、他の「領域」との関連から見た「表現」について解説する ・音楽、身体、造形活動の各表現について解説・演習を行い、それらを融合した活動を通して、学生が自ら表現する感覚を味わうことのできるワークショップを実施する ・保育者の「表現」に係わる知識・技能の習得のための演習を行い、乳幼児の「表現」を導くための知識・技能について指導案を作成し、発表を行う								
授業形態	対面授業				授業方法	ディスカッション、グループワーク			
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	・子どもの表現に関する今日的状況について、各種資料を収集している（DP1-2） ・音楽、身体、造形表現の中から2つ以上の表現活動を指導案の内容に取り入れている（DP1-2） ・表現に関する環境を通した保育の展開ができ、自らの保育の課題を挙げることができる（DP2-1, DP3-1）								
理想的レベル	・子どもの表現に関する今日的状況について、各種資料を収集・整理し他者に説明できる ・指導案に音楽、身体、造形の総合的な表現活動を指導案に取り入れ、実施することができる ・表現に関する環境を通した保育の展開ができることに加えて、自らの保育の課題を分析し、進んで向上させようとする								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）				備考		
試験									
小テスト			40				0		
レポート									
発表（口頭、プレゼンテーション）			40				0		
レポート外の提出物			20				0		
その他									
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	WE21620J
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）
予：保育所保育指針の関連部分を読む									1
授業計画									
第1回	オリエンテーション 授業の進行方法・評価方法について説明する								
第2回	領域「表現」 5領域の中での「表現」の位置づけについて解説する								
第3回	乳幼児の表現 1								

	乳幼児の表現について解説し、表現を引き出す方法について検討させる
第4回	乳幼児の表現2 乳幼児の表現を引き出すための、保育者としての表現の重要性について解説する
第5回	保育計画の立案1 保育計画立案のために必要な基礎的知識について解説する
第6回	保育計画の立案2 部分保育指導案の作成方法を解説する
第7回	模擬保育1 作成した指導案を基に、環境を通した保育の展開を模擬的に経験する
第8回	模擬保育2 作成した指導案を基に、グループごとに環境を通した保育の展開を模擬的に経験する
第9回	模擬保育3 作成した指導案を基に、グループごとに環境を通した保育の展開を模擬的に経験する
第10回	幼児の音楽表現 幼児の音楽表現を中心とする表現活動について解説する
第11回	幼児の身体的表現 幼児の身体的表現を中心とする表現活動について解説する
第12回	幼児の造形表現 幼児の造形活動を中心とする表現活動について解説する
第13回	幼児の表現活動の実践① 幼児の表現活動について発表する（1歳以上3歳未満児を対象とする）
第14回	幼児の表現活動の実践② 幼児の表現活動について発表する（3歳以上児を対象とする）
第15回	振り返りとまとめ
テキスト	・「体を楽器にした音楽表現リズム＆ゲームにどっぷり！りとみっく 77選 神原雅之著 明治図書 ・「こころとからだを育む1－5歳のたのしいリトミック 神原雅之著 ナツメ社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・小テスト 点数をつけて返却する ・発表 コメントをつけて返却する ・指導案 コメントをつけて返却する
課題に対するフィードバックの方法	・自身の表現の幅を広げるために、日常生活の中であらゆるものの興味・関心を持って関わるよう努めること ・保育所保育指針の「表現」に関する項目を熟読し、子どもの発達の特徴を理解すること ・常に「考える」ことを重視し授業を展開するので、自身の考えを持つこと、その考えを他者に客観的に説明することを習慣化しておくこと

	・自身の体験で得た感覚を言語化できるように習慣化しておくこと
学生への メッセー ジ・コメ ント	